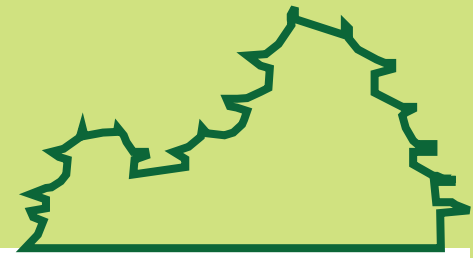


# 和服deひめじ



播磨 姫路 2010年(平成22年)11月1日(月)

毎 日 新 聞

## 和服deひめじ

「和服deひめじ」で、和服や時代衣装の着用を呼び掛けるNPO法人「コムサロン21」のメンバーら—姫路市の大手前通りで

姫路城周辺を京都や奈良のように歴史を感じさせるまちにしようと、姫路市のNPO法人「コムサロン21」（前川裕司理事長）が城周辺で和服や時代衣装を着用するよう、市民に呼び掛けている。31日には「和服deひめじ」と銘打ったイベントを初めて開催。メンバーら約20人が武士や飛脚、町娘姿で大手前通りや周辺商店街を練り歩き、チラシを配った。

歴史の風情観光客に呼び掛け

コムサロン21は地元密着型のイベントなどを手掛けている。今回の企画は歴史都市の風情を衣装で醸しだし、観光客に楽しんでもらうのが狙い。その機運に弾みをつけようと、西二階町商店街など中心市街地の商店にも協力を要請し、43店舗が快諾。既に、和服などを着用した来店客には商品割引



や飲み物サービスなどのキャンペーンを始めている。

「和服deひめじ」は3、7日にも行う予定。前川理事長は「姫路城の改修工事の影響で観光客が減少している

今こそ、まち全体でおもてなしすべきだ。姫路城周辺を常に和服であふれさせたい」と話している。問い合わせはコムサロン21（079・224・8803）。

【山川淳平】